

- 問1 日本の中部地方において、飛騨・木曽・赤石山脈からなる日本アルプスの東側に位置し、日本列島を地質学的に東日本と西日本に分ける巨大な溝状の地形帯を何と呼びますか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. フォッサマグナ 2. 中央構造線 3. 日本海溝 4. 環太平洋造山帯
- 問2 自然災害による被害が予想される区域や、避難場所・避難経路などの情報を地図上にまとめ、住民の防災意識を高めたり迅速な避難を促したりするために作成される資料を何といいますか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 観光地図 2. ハザードマップ 3. 地形図 4. 都市計画図
- 問3 ある地域の雨温図において、12月、1月、2月の降水量がそれぞれ300mmを超えており、年間で最も冬の降水量が多いという特徴が見られます。このような気候が形成される要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
1. 梅雨や台風の影響を強く受ける地域であり、夏から秋にかけての降水量が極端に多くなるため。 2. 一年を通じて偏西風の影響を強く受け、大陸からの乾燥した空気が流れ込み続けるため。 3. 冬に北西の季節風が日本海を渡る際に湿気を蓄え、山脈にぶつかることで雪を降らせるため。 4. 夏に南東の季節風が太平洋から湿った空気を運び、上昇気流が発生して大雨を降らせるため。
- 問4 南海トラフ地震などの大規模災害に備えた「自助」の取り組みとして、各家庭での食料や飲料水の「備蓄」に関する記述として、最もふさわしいものはどれか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 家具の転倒防止などの室内安全対策は専門業者に任せることとし、個人では非常用持ち出し袋の軽量化のみに注力する。 2. 災害時には自治体からの救援物資がすぐに届くため、家庭内での食料備蓄よりも、避難所へ移動するための手段の確保を優先する。 3. 最低でも3日分、可能であれば1週間分程度の飲料水や食料を確保し、日常的に消費しながら買い足す方法を実践する。 4. ライフラインが止まった場合に備え、カセットコンロなどの熱源は避難所に配備されているものに頼り、家庭では火を通さず食べられる食品のみを揃える。
- 問5 日本の太平洋側に位置する三陸海岸の沖合で、寒流と暖流がぶつかり合って「潮目」を形成している海流の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 日本海流（黒潮）と対馬海流 2. 対馬海流とリマン海流 3. 千島海流（親潮）とリマン海流 4. 日本海流（黒潮）と千島海流（親潮）
- 問6 日本周辺の海流の経路について説明した次の文のうち、リマン海流の特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2020年 山口県公立入試 類似)
1. 対馬海峡から日本海に入り、日本列島の沿岸に沿って北上する暖流である 2. フィリピン沖から北上し、日本列島の太平洋側を流れる、色が黒く見える暖流である 3. 日本海の北側から、朝鮮半島の北東沿岸に沿って南下する寒流である 4. 千島列島から北海道の東側を通り、東北地方の太平洋沿岸を南下する寒流である
- 問7 山地から平地へと広がる扇状地の統計や地形を示した資料において、高速道路が標高の等しい地点を結んだ線に沿って、緩やかな弧を描くように建設されている様子が見て取れます。このように、等高線に沿うように道路が配置される主な理由はどれですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. 川の流れに対して常に垂直に交差するように設計することで、橋の建設距離を最短にする必要があるから。 2. 車両の走行負荷や燃料消費を抑えるため、急激な上り坂や下り坂を避け、極力一定の高度を保つように設計するから。 3. 土砂崩れが発生した際に、道路が防波堤の役割を果たして山側からの土砂をせき止めるようにするため。 4. 扇状地の扇端部分にある集落を避け、用地買収が容易な山裾の未開発地を優先的に通過させるため。
- 問8 日本の冬の気候において、関東地方などの太平洋側の地域で見られる、家屋の北側や西側を囲むように「かしぐね」と呼ばれる高い生垣を設置する工夫について、その理由として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. シベリア大陸から吹き出す、冷たく乾いた北西の季節風から住居を守るため。 2. 日本海を渡る際に湿気を多く含んだ、冷たく湿った北西の季節風による積雪を防ぐため。 3. 太平洋側から吹き付ける、乾燥した強い南東の季節風による砂埃を防ぐため。 4. 小笠原諸島付近から吹き出す、高温多湿な南東の季節風による湿気を避けるため。
- 問9 川の流れによって運ばれた土砂が積もって形成された地形は、土砂の粒の間に隙間が多いという特徴があります。このような地形に見られる、水の通りやすさに関する性質として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. 水はけが良く、水が地下に浸透しやすい性質 2. 保水性が高く、水が地表に溜まりやすい性質 3. 常に湿潤な状態を保ち、粘土質に変化しやすい性質 4. 地下水が地表近くに溜まり、常に湿地を形成する性質
- 問10 地形図上で「茶畑」を示す地図記号が、標高がやや高い平坦な「台地」に多く見られる理由を説明した文として、正しいものはどれか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 茶の栽培には、根腐れを防ぐための良好な水はけが必要だから 2. 茶の木は、海岸付近の潮風に当てることで品質が向上するから 3. 茶の収穫には、急傾斜地での作業効率が求められるから 4. 茶の栽培には、低地のような湿潤な土地が不可欠だから
- 問11 日本の河川は、大陸の河川と比べて「長さが短く、流れが急である」という特色があります。このような河川の特色が、日本の自然災害や資源利用に与える影響について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
1. 降った雨がゆっくりと海へ流れるため、水量が年間を通じて安定しており、大型船による内陸輸送に適している。 2. 河川の傾斜が緩やかであるため、土砂の運搬作用が弱く、河口付近に三角洲が形成されることはほとんどない。 3. 雨が降ると短時間で一気に増水して洪水が起こりやすいが、急な流れを利用した水力発電に適している。 4. 河口付近でも標高が高いため、干拓によって大規模な農地を作るのは向いているが、塩害が発生しやすい。
- 問12 日本の冬季において、北西から吹く湿った季節風が東北地方を南北に走る奥羽山脈にぶつかることで生じる、日本海側の気候の特色として正しいものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹き込み、気温が上がらない。 2. 暖流である対馬海流の影響のみによって、一年を通して温暖で雨が少ない。 3. 山脈を越えてきた乾いた風の影響で、乾燥した晴天の日が多くなる。 4. 湿った季節風の影響で雲が広がりやすく、雪や雨が多く降る。